

自由回答意見一覽

自由回答意見一覧

男女共同参画に関する市政への意見・要望、また、姫路市男女共同参画推進センター“あいめっせ”への意見・要望について自由解答欄を設けた結果、149人から回答が得られた。

以下、本調査の趣旨に直接関連のない意見・要望を除き、基本的に記述いただいたとおり紹介する。

年齢	性別	自由回答意見
20～29歳	男性	能力のある女性をどんどん登用しろというのはいいが、能力がないのに登用しろ、女性をとにかく登用しろという感じにはして欲しくない。
20～29歳	男性	“あいめっせ”などの施設ができたことをもっと市民に知らせてください。
20～29歳	男性	こういった問題は女性だけではなく男性の問題でもあることを考えて欲しい。
20～29歳	男性	男女の出会いの場をつくる。未婚者の減少、一人親家庭の減少も防げるのでは？
20～29歳	男性	女性に対することばかりが目されるが、必ずしも男性優位ではなく、女性が優遇され男性が厳しい立場になっていることも多くあります。そんなことも考えて今後の事業展開に活かしてってもらえればと思います。男女共に働きやすい、住みやすい地域になるよう願っています。
20～29歳	男性	社会の多様化により生活も変化してきている。行政が男女共同参画のできるような法整備をするべきだと思う。
20～29歳	男性	男女の差別はなくならないと思う。
20～29歳	男性	社会の中では、女性専用車両があったり、その点では、女性の方が有利。
20～29歳	女性	男性の家事参加に積極性がない。自ら動ける人が少なく、見かねて動くのは女性。
20～29歳	女性	専業主婦であり、小さい子どもがいます。結婚前も（アルバイト）定職がなかったため、経済的な不安からパートタイマーくらいは・・・と思いますがなかなか思い切れず、将来子どもの手が離れてからも専門的な職業知識能力がない自分の居場所に少々不安があります。
20～29歳	女性	昔の考え方をする年配の方（主に50歳以上）が堅い頭をもう少し柔らかくしてくれないと、女性の地位はいつまでも低いものになってしまう。かといって、子どもを預けっぱなしにして働く女性が増えるというのも困る。現状では、仕方がないことだと思うので、1日でも早く男性が家庭の役割を理解し、分担できることが普通に思える社会になったらな...と思います。時間が数十年とかかることでしょけれど、いつかそんな日が来るといいなと思います。
20～29歳	女性	保育料が高すぎる。少子化をなくしたいなら改善すべき。姫路市は他の市より保育料、医療負担が高い。できるなら他市に行きたい。
20～29歳	女性	企業の面接で女性にだけ恋人はいるのか、結婚の予定はあるのか等聞くことを辞めて欲しい。それだけの理由で就きたい仕事に就けないなら、将来的にどうしても男性を頼りにするしかなくなるのが私には嫌だった。同じ立場なのに、男性は研修で上に上がられて、私には研修を受けさせてくれなくて、希望しているのに正社員になれないでいます。機会だけでも与えて欲しいと思いました。

年 齢	性 別	自 由 回 答 意 見
20～29 歳	女性	男女平等といいつつも、女性は女性で「女性だから…」という女性を武器にしているようなところがあり、男女平等と言えば、男性の意識改革というイメージがありますが、女性にも啓発を充実させるような活動が必要だと思えます。
20～29 歳	女性	戦後からの男性社会が長い間続き、大きく変化を迎えたことは、女性が社会に進出してきただけで柔軟に社会が対応できなかったツケがきているように思います。少しでも一人一人が生きやすいようになったらと思います。正しいことが正しいと言えるように私たちも努力しなければ・・・。
20～29 歳	女性	そもそもセンターがあること、またその事業内容も知らなかったのも、その存在、どのように利用すればよいか等、もっとアピールすべき。
20～29 歳	女性	私は小さい子どもがいますが、これから働きたいと考えています。しかし、保育園に入園できなかったり、子どもの病気の時、再就職口の少なさ等を考えるとなかなか働けません。まだまだ難しいとは思いますが、女性が安心して暮らせる社会をつくって下さい。お願いします。
30～39 歳	男性	チラシ・パンフ・ホームページ等で“あいめっせ”の事業内容をもっとアピールして下さい。これからはがんばって下さい。
30～39 歳	男性	幼少時からの啓発活動が重要。ジェンダーの概念で育っていない日本人が思いつくことには限界があるのでは？アメリカで実践されている方法をどんどん取り入れていけばよいのでは？
30～39 歳	男性	情報の発信方法等市民が知る・触れ合う機会を増やして欲しい。
30～39 歳	男性	男女平等は良いことだが、全て平等になるとは思わないし、限界がある。言葉の意味をはきちがえず、譲り合うということを根底に男女平等を目指して欲しい。また、保育料の計算方法を見直して欲しいです。
30～39 歳	男性	まずは地元姫路の有名企業から女性の有休、時短勤務の実績をつくりアピールして欲しい。男性の残業を減少し家庭や子どもとの時間を平日から持てるよう労働基準局等を通して単に推奨でなく努力義務として実践させて欲しい。
30～39 歳	男性	男女共同参画についてあまり知る機会がありません。もう少し PR をしてもらいわが家庭の一助になるようお願いします。
30～39 歳	女性	何よりも現在の社会において女性が仕事をできる環境が整っていない。小さい子どもの保育制度はもとより就学児童に対する学童保育など、子育てを安心してできる社会になっていない。子育て中は子育てに対して不安なため、地域の人や社会全体でフォローをして欲しい。
30～39 歳	女性	少子化について、幼児から成長するにつれ経済的負担の増加を理解して欲しい。義務教育でない高校大学でも出てないと職業に就けないのは明確。大学進学するためにどれくらい費用がかかるのか、小学生にあがる前の子を対象には補助が充実しているがそのころはもともとそんなに必要ない。そこを考えると少子化が進んでも不思議ではない。義務教育なのに、学年別に物品の色を変えて購入させるのは絶対におかしい。物品も安くはないし、兄弟がいても綺麗でも利用できずその子限りで終わる。色分けは学校に都合がいいからなのか？冬の上下体操服で 8000 円近くするところあり。
30～39 歳	女性	結婚して家庭に入った時は、男女の役割があって男性が外で働き女性が家庭を守るという形で良いと思う。それは生まれもった性の違いであり、出産するのは女性だから。しかし、独身で外で働く女性にとって、職場ではすべての待遇が男女平等であって欲しい。

年 齢	性 別	自 由 回 答 意 見
30～39 歳	女性	日本の歴史や文化があるので何でも欧米化の真似をしていくのは良くないが、今の社会の中の啓発と同時に、上記にあるような学校での教育、家庭での教育（性教育、思春期の子育て体験）が早い段階から必要。男女平等という前に男にも女にも生活の自立（自炊、買い物、ゴミだし、洗濯等の一連の生活に必要な技術）を教えていくべきだ。
30～39 歳	女性	“ あいめっせ ” そのものの存在や活動内容を知ってる人がまだまだ少ないと思います。私もボランティア仲間から教えてもらうまでは名前すら知らず興味もありませんでした。情報提供も少なくともごく一部の人にしか情報が回っていない感があります。イーグレまで出向いた人だけが利用できるのではなくもっと幅広い層へのアピールが必要だと思います。
30～39 歳	女性	未来の子ども達に大切なことは何を伝えることなのでしょう？今、社会の中で人権は大切なことだと思う。学校や家庭が崩壊していくのは何故か？将来の子ども達のための環境を考えた時、男女共同がいいのか？一家の大黒柱の男の人を立てた生活、このけじめがあったからこそ、いや、そういう環境に育ったからこそ今の今を幸せに思えるのはおかしいでしょうか？権利、人権を主張し離婚が当たり前、我慢できない大人、子どもがわがままになって心が病んでいる。私は法が決めたことであるかもしれないけど、未来の子どもがこのことを当たり前とってしまう環境に育つことがかわいそうな気がする。今本当にしないといけないことは何なのでしょう？
30～39 歳	女性	私は、震災後神戸から移ってきましたが、子どもが大きくなるにつれ、姫路では、自治会・婦人会等の活動が多く仕事をしながらこなしていくのがとても負担に思い大変です。母子家庭の方で夜9時すぎに集金に来られる方もいて気の毒です。神戸では、自治会は60歳を過ぎて自由が多いお年よりの方が積極的に楽しく活動し、若い人は忙しいからと役も回ってきませんでした。子どものためと言われると何も言えませんが、少し疲れています。秋祭りの寄附を集めないで下さい。全く興味ないので。
30～39 歳	女性	少子化対策イコール金の支援という最近の流れに納得がいかない。保育サービスの充実が必要だろうが、誰かにまかせてしまうのもおかしい。家庭という世界で最も小さな社会を置き去りにしてはいけない。今までの女性がしてきた家庭内の仕事に対する評価、価値の社会的認識を高めていっていただきたい。
30～39 歳	女性	子どもを4人産んだら社会に貢献したねと言わせる社会がおかしい。少子化をなくすため、社会は経済的な面としっかりした援助をして欲しい。
30～39 歳	女性	カウンセリングセミナーや講演に参加したいが、平日常勤で休みがとれずにいる。時間帯を考慮して欲しい。男女共同参画には大いに賛成だが、高齢者等に「男とは・・・。女とは・・・。」の観念がまだまだ残っているように思う。当人どうしは理解しているものの・・・。
30～39 歳	女性	女性がいろいろな面で犠牲者になることがないように、活動しやすくなれば良いと思います。
30～39 歳	女性	子どもの春夏冬休み期間中、休める勤務先が増えるよう、また、会社側もパート職の勤務時間の分割をしてくれるよう市から会社側に要望して欲しい。土日祝が休みの勤務先を増やして欲しい。土日祝専用の人を雇うことでもして欲しい。
30～39 歳	女性	大阪、神戸に比べ姫路市は意識が低い。西播磨よりはマシであるが、女子への教育意識が低い。
30～39 歳	女性	お城の女王やミスゆかた等いつまでするのですか？企業から強制で何名か出さないといけないそうですが、年々応募者も少なくなっていると思います。市民の関心も薄いです。

年 齢	性 別	自 由 回 答 意 見
40～49 歳	男性	基本的に個々の意識の改善と自覚と責任
40～49 歳	男性	男女共同参画推進センターが有ることを初めて知りました。
40～49 歳	男性	今後も完全な男女平等意識を持つのは不可能ですが、学校や家庭での男女平等意識を持たせる教育しただけでは、これからの子どもが大人になっていく過程で徐々にではあるが変わってくると思います。頑張ってください。
40～49 歳	男性	もう少し踏み込んだ施策を継続して行う必要があると思います。神戸市や西宮市に比べ市役所を中心とする公務員のレベルが低いと痛感します。特にお年寄りや女性に対する態度には問題が多いと思います。
40～49 歳	男性	当アンケートは、男性が優遇されているという点からつくられたもののように思いますが、現状としては女性が優遇されている点が多いとされます。私は男女の平等問題が先んじているようにしか思えません。学校教育や行政のこのような考えを改め儒教の精神のような教育に変えていくことで子どもを産み育てる方も増えてくると思います。
40～49 歳	男性	女性自身の意識改革が必要。働く女性の多数は積極的に仕事をする意欲が無く、自分の仕事量を決めている。仕事に女性が入ると遅れることが多く周りの男性の負担増。より女性を積極的に登用するには、女性自身が変わる必要がある。女性だけの職場を多くつくることで女性の仕事に対する意識を変える。
40～49 歳	男性	男女平等、対等に仕事を望む女性はいるが、一部の職種を除き男性と対等に仕事をするには肉体的精神的に無理。独身女性や夫の理解ある女性ぐらしか仕事に専念できない。一部の女性が男女平等といっても家庭に入り子育てを望む女性も多い時代に難しい問題である。世間の同意を求めず、自分の力を職場で生かすなら本人のやる気次第は開ける。発揮させるには、どれだけ強い意志を持つかが重要。今は実力主義だから。女性だからダメというのは本人の言い訳にしかならない。
40～49 歳	男性	男女平等には女性も辛い仕事をしてもらうことが含まれることを忘れないで下さい。現実に男女平等を望まない女性もいます。
40～49 歳	男性	母子家庭と父子家庭との補助の差は何故あるのか？父子家庭も苦しい。
40～49 歳	女性	伝統的な秋祭りや男尊女卑が根強すぎると思う。縦社会なので自治会に意見を言えず子ども会の参加も苦痛。それ以外は住みよいところと感謝しています。
40～49 歳	女性	まだまだ男女平等とはいえないところが多くあります。女が前に出るという問題はかなり難しいと思いますが徐々に改善され、よりよい状況になって欲しいと望みます。今後ともご活躍願います。
40～49 歳	女性	“あいめっせ”について（私もそうですが）知らない人が多いです。センターの事業内容をもっと知った上でアンケートを書くべきだったかと思っています。
40～49 歳	女性	女性の社会進出は推進されるべきものですが、一方、子どもを産み育てていくことの大切さにもっと目を向けるべきである。将来の日本を担う子どもをもっとしっかり育てていくべきだと思う。仕事、仕事と追い求めて子育てがおろそかになってしまっている最近の傾向があるように思います。（少年事件など）精神的経済的余裕をもって仕事を休み、子育て期間を過ごせるような制度の整備が望まれる。
40～49 歳	女性	男女は平等であるべきだが、各々の特性は、別であり、特に父性と母性は違うので子どもを育てる上では、何から何まで父母が半分というわけにはいかないでしょう。また、女性男性は各々の人権を尊重しながら各々ができることを協力し合って社会生活を営むのが理想で男女が全く同じことをやるということではないと考えます。

年 齢	性 別	自 由 回 答 意 見
40～49 歳	女性	独身時は自由時間があり仕事にも力を注げたが、現在は子ども重視でパートタイムとして働いている。女性を雇用する事業者と学童保育の充実を望む。
40～49 歳	女性	ジェンダーが盛んに言われるようになり、小学校の名簿が男女混合になり、男女児共に、さんづけで呼ぶようになったとき違和感を覚え保護者の間でも不評、不便でした。形ばかりのジェンダーからは男女平等は生まれない。それ以来ジェンダーという言葉に懐疑的になっています。
40～49 歳	女性	男女平等を強調されてますが、現実には変わってないし、変えられていない。家庭・子ども・仕事やはり女性の役割が多すぎて負担になっている。このようなアンケートをとっても雇用形態・社会も日々の生活の中では特に良くなって行くとも思えない。世の中一生懸命働いている人は損ばかり。楽に生きている人は待遇がよいというおかしな世の中でしょうか？そういうアンケートをとって見たらどうですか？
40～49 歳	女性	男女平等の教育も良いが男女の良さがなくなっているように思う。女の子の言葉の乱れ、日本語の良さが無くなり思いやりのある子も少なくなっている。男の子は陰湿なイジメをするし。男女平等を言い過ぎ。日本だけではないですか？男の人をゴミ扱いする人も多すぎると思います。
40～49 歳	女性	平等といっても女性は男性のように、男性は女性のようにはいかないのでお互いが尊重できていれば良いと思う。古いようですが、男は威張って女は慎ましくでうまくいっていたので、そのままがいいのではないのでしょうか？古臭いことは大事なことだと思います。世の中がうまくいっているのならいいですが、目に見えて下降線だと思います。
50～59 歳	男性	動物学的な男女（雄雌）の役割をよく研究理解をしていないと目先の現状打開の議論だけに終わってしまい根っここの問題（例えば少子化）に発展していかないと考えます。人類の将来を見据えたプランを策定してもらいたいと思います。
50～59 歳	男性	女性の人権より日本国民の人権を守るべき。より重要な問題に対して真剣に取り組んで欲しい。
50～59 歳	男性	ことさら女、女というより実際の世の中の方がもっと進んでいる。女の人がそんなに差別されていると思わない。そう思う人もいるが、それは少数派では？家庭には、色々な事情がある。それを決められた中から選ぶアンケートではこの本質にせまらないのでは？
50～59 歳	男性	真の意味の平等を大人が今一度考えてから学校教育等に生かすべきである。口先だけのまやかしは、通じなくなっていると思う。本当に皆さんは、平等にできると思われませんか。綺麗ごとはいりません。
50～59 歳	男性	環境も大切だが、女性の意識改革が最重要。海外は、はるかに進んでいる（実体験あり）、ちょっと設問が多すぎます。
50～59 歳	男性	男性・女性それぞれの人権があると思う。お互いを認め合う社会をつくってもらいたい。
50～59 歳	男性	パート、アルバイトを多数雇用し、正社員の数を押さえている。パートは女性が多く、重要視される職位への昇格を望んでいると思えない。日本の雇用（正社員）を増やすには、パート比率を限定しパートで生活程度を保つ関係を絶つべき。
50～59 歳	男性	今回のアンケートにより、姫路市に男女共同参画を推進する課・部があることを知りました。市民の意識も認識も性別・年齢・職業別等様々な意見が存在すると思われれます。大変だと思いますが、市、県民のため、ひいては国民のためになると思います。良い活動になりますようお願いしております。
50～59 歳	男性	男女共同参画で対等の扱いを主張しながら、都合よく女性を女性と見て欲しい等の意識をなくす。

年 齢	性 別	自 由 回 答 意 見
50～59 歳	男性	今の時代、男は強く・女は弱いという被害者の考えは旧来からの固定観念と言えないか？当てはまるケースも多数あり十分承知してるが、こうした活動、社会傾向を見ると望ましい方向から脱線していないか？男女共に反省が必要。戦後強くなったのは、女と靴下といわれ久しいが、強くなる方向を誤らないことだ。高学歴の女にニートの男。現実の変化に意識の変化が追いつかない。男・女ではなくまず人間としての心を育てることが必要。それができれば、ここでやろうとしている問題は消える。センターがやるべきことは男女の問題ではなく人間性をテーマに取り組むべき。男女共、加害者被害者にもなりうる。自殺者は年3万人を越し、人の心を育てることで暮らしよい社会になると思う。是非大きな心でこの大きなテーマに取り組んで欲しい。高学歴、高収入の女・ニート男という社会情勢が未婚の増加、少子化に影響していると言われている。性差による特質まで否定するのはよくない。経済力があるから発言力が増すではなく、世の中男女で成り立ち互いに協力し、助け合わなければならない。助け合い、思いやりの心が大切。女性の地位向上・女性を守ることを論じる時、権利の前に心の教育が大切だと思う。
50～59 歳	女性	男女平等とあまり言い過ぎると男の良さ女の良さがなくなり個性がなくなります。最近子ども達を見ると中性的な子が増えてきて将来が不安になります。良い意味での男らしさ女らしさも大事ですよ！
50～59 歳	女性	ストーカー被害の経験者でも偏見の目で見ない企業を市や国全体で取り組むべき。ストーカーは互いの誤解から生じるので共に話し合うのが一番の解決策なので無料で話し合いができる場所を設けて欲しい。結婚の減少は出会いの場がないため結婚相談所等は費用が高いので市が安い料金で出会いの場を提供して欲しい。新聞等で宣伝すれば参加者は増え市が主催ならば安心して参加でき少子化問題も解決するのではないのでしょうか？
50～59 歳	女性	女性だけが特別に差別されているという意識は嫌い。一人の人間として自分を考える意識を持つことが大切。なんでも女性だからという差別意識にとらわれなくて、女性として良かったことに目をむけて。最近は男性もしいたげられている。女性は強い。
50～59 歳	女性	専業主婦として 40 年近く狭い社会で生きてきました。でも老人の介護だけは人並み以上に経験しました。周囲の理解がもっとあれば苦しみも少しは減ったのではないのでしょうか？
50～59 歳	女性	私の夫は、平成元年より脳梗塞のため私の所得で生計を立てました。母子家庭には補助があるが、所得のない父がいても補助を受けることができなかった。働きたくても働けない体になってしまったのに公の補助がないのに矛盾を感じた。当時子どもは高3、中1だったので困った。
50～59 歳	女性	イーグレひめじにはよく行きますのでセンターの存在は知っていますが、具体的にどんな活動をしているのかわかりにくい。もっともっとかみくだいた説明(具体例)を提示して下さっていると理解し易いのですが。
50～59 歳	女性	“あいめっせ”が事業開始して時間もたっています。今の時期にアンケートをとるようになった経過は何でしょう？時期が遅いのでは？いつまでもアンケートを取って…。そんな消極的活動で本当の参画の問題が解決前進するのでしょうか？場所が確保され会場で催しがおこなわれているだけで解決する問題ではないと思いますがどうでしょうか？
50～59 歳	女性	子どもが小学校を卒業するまで、父親が特に仕事先から帰って子どもとともに宿題やコミュニケーションがとれる家庭づくりを支援できれば豊かな子どもが育つのではないかと？
50～59 歳	女性	男女は生まれつき身体的生理的な差があり絶対に平等になり得ないと思う。男は男らしく、女は女らしくなければいけない。今、このらしさがなくなって社会がおかしくなっていると思います。人間はみんな平等になんかなれません。

年 齢	性 別	自 由 回 答 意 見
50～59 歳	女性	男女平等、男女共同参画以前に男性と女性の役割や使命が違うこともしっかり考えるべきだと思う。女性の妊娠、出産、育児は女性だけに与えられた仕事だと思う。男性が社会に出て仕事をするのと比較にならない尊い仕事だと思う。それを今の若い人たちは、外に出て社会で認められ仕事をするのが、男性と並んで評価される事だと思いついでいると思う。これからの世の中がどうなっていくのか、この変化は必ずしも良い社会をつくり出すとは思えず、不安です。家庭教育の見直しを始めるべきだと考えます。
50～59 歳	女性	私はこの3月まで私立の幼稚園に勤務しておりました。そこは、女性ばかり（園長を除く）の世界でしたので幸せなことに男女不平等とか女性差別とかを感じたことはありませんでした。
50～59 歳	女性	“あいめっせ”の言葉だけではなく市民に活動内容が充分理解できる広報をして欲しい。
50～59 歳	女性	男女平等を唱えすぎ。家庭的には男らしさ、女らしさが必要。昔の日本人の良いところを見直すべき。
50～59 歳	女性	男女共同参画にどういう意味があるか分からないが、アンケートに参加したので興味を持つようになった。性差別で女性が助かったこともあるので、男女平等というのはおかしいと思う。
50～59 歳	女性	初めて聞いた言葉だったのでこれから勉強していきたい。
50～59 歳	女性	男女が共に職業人として能力を発揮するためには、家事について男女で充分話し合い分担することが大切である。少子化は、社会そのものが成り立たなくなる。次の時代をになう人間がいなければ、公的制度が保てない。社会の存在がなくなる。
50～59 歳	女性	保育問題をもっと広げて欲しいと思います。娘の実態を見て感じております。
50～59 歳	女性	男女共同参画という言葉を知りました。機会があれば参画したいです。また色々な人の話・考えも知りたいです。
50～59 歳	女性	共同参画より、子どもの躰・教育・良い環境づくりが大切。頭でっかちな人間が多く、自分に関係なければ見て見ぬふりの世の中、男女平等といっても矛盾が多く感じられる。地球温暖化も人間がもたらしたもので、基本的に人間が生きていく上で大切なことから取り組んで欲しい。
60～69 歳	男性	勉強不足で“あいめっせ”を知らなかった。
60～69 歳	男性	このアンケートは女性の性差別に対する問が多いように思いました。しかし、家庭内暴力においても女性のヒステリックな暴力が増えている。また、就職にしても50%以上が習慣として結婚までと考えている等、自覚のない女性まで性差別とは言わないでしょう。自覚のある方は性差別なんてありません。啓発活動は自覚のない女性にこそ必要だと思います。常識ある男性は性差別なんてありません。
60～69 歳	男性	アンケートに終わることなく、積極的に取り組むべきであり、本庁の中に部署を設置し積極的な人事活動を実施する。臨時職員や嘱託職員ではなく積極的な人事を実施すべきであり、アンケートの中味にマッチした配置をするべきであり期待する。
60～69 歳	男性	大きい企業と小さい個人会社とでは、女性に対する人権尊重は昔から変化していない。年金等でも、これからは女性にも男性と同じように受け取れるよう給料の改善を今の若い人のために望みます。

年 齢	性 別	自 由 回 答 意 見
60～69 歳	男性	女性は結婚し出産し子育てすることが当たり前。女性でなければできないことがある。子どもとのスキンシップを多く持ち、子どもの心を和ませたり安心感を持たせることができる。仕事は子育てがすんでからで良い。自分の贅沢のために仕事に行く人が多いと思う。母親であれば子どものことを考えること
60～69 歳	男性	“ あいめっせ ” は男性の立ち寄りがたい施設のように思います。
60～69 歳	男性	男女の生まれながらの性差を尊重しつつ、権利や環境や地位が男女平等に扱われるのにはやはりまだまだのように感じる。そのためには、行政や教育などの啓発啓蒙が必要だと思うので今後ともますますの行政の関わりを期待している。
60～69 歳	男性	このたびは無作為なこととはいえ、私を選んで頂いて感謝してます。人間は他の動物より少し頭が良く自由を与えて頂いた生きものとして全ての人々が自覚し行動していくべきと思っています。男女共同参画について一言。「男女雇用機会均等法」施行を多くの女性が勘違いして行動していませんか？男女の性の違い、素晴らしい特徴を大切に尊重しあって、その上で（すべて自由ではありません）共同参画し合っていくべきと考えます。
60～69 歳	男性	高齢者でも意欲のある者が仕事を選べる情報や支援機関が必要。“ あいめっせ ” の事業内容を各家庭に知らせるパンフレット・情報誌が必要。
60～69 歳	男性	男女平等になってから女性が結婚をしなくなったのでは？少子化になっていると思う。
60～69 歳	男性	姫路市が人材を登用する時、男女半々と最初に決めて登用すべきです。
60～69 歳	男性	男女共同参画を推進するのもいいが、家庭支援を充実して子どもが一定の年齢になるまで躰に力をいれて欲しい。
60～69 歳	男性	男女共同参画に関する何を何も知らなかったので今回の設問は難しかった。
60～69 歳	男性	男性が出産し、女性をバックアップできるなら男女均等により近づけるが、男女の役割の質を向上させる動きが大切では？電車であぐらをくんで座る女子高生をみると安っぽい男女均等の知識を誰かが植え付けているのでは？と思ったりする。女性が男社会に進出して出産育児を放棄すると日本は亡びてしまう。男も女も母の胎内から育ち、最終的には年をとっても、おふくろおふくろとしか言わないのに。女性の負担は国をあげての報いをもっと必要かもしれないが、国民の政冷経熱（国民意識等考えず、金もうけ等しか考えていない）を是正する動きも必要なのでは？民間マスコミも NHK 並みの考える番組をつくるべき。
60～69 歳	女性	どんなに素晴らしい企画をされても土日祝が多い。月曜日しか休日のない者には参加できない。いろんな人間にも合わせて欲しい。また、その子ども達も参加できないので友達づくりがうまくいかない。
60～69 歳	女性	姫路市男女共同参画推進センターがどこにあるのか内容も仕事も全く知りません。
60～69 歳	女性	“ あいめっせ ” について今まで自分自身があまりにも知らなさすぎたように思います。身近な場所でもっと知識を身につけられるよう、また、解りやすく資料など置いて頂ければ嬉しく思います。
60～69 歳	女性	私は現在 60 代ですが 54 歳まではぼつぼつですが元気に働いてきました。でも職場を辞め年齢とともに社会活動に参加しようと思っても身体的に無理になり現在医者通いになりました。でも前向きにがんばってなるべく家族に世話にならないようにと思って、一日を大切に過ごしたいと思います。介護に関わる基盤づくりを進めてください。

年 齢	性 別	自 由 回 答 意 見
60～69 歳	女性	人間として生まれて結婚して子どもも孫も恵まれる人生が最高だと思います。愛する国、家庭のため自分のためにも若い人はもっとがんばって下さい。男女の差別のない社会で楽しい家庭を築いて欲しいと思います。一度しかない人生だから。
60～69 歳	女性	障害者や退職者が働ける環境づくりを希望します。また、水害を防止するため、地盤の低い地域の排水の設備を希望します。
60～69 歳	女性	皆が助け合って、楽しい家庭になるよう願う。
60～69 歳	女性	世間で見ると限りでは、あまりにもある面で女性が強すぎ。男性をたてるところも十分ある。なぜ女性が結婚せず仕事ばかりに携わるのか女性にも根本より教育することが十分必要。男性が弱くなったのかもしれないが、女性の方が何もできないのに強すぎでまた口がえらすぎ。
70 歳以上	男性	女性の社会への進出、共同参画は大切なことであり積極的に推進しなければならないが、まずは、出産可能年齢の女性は積極的に出産し子育てに専念することが日本の将来のために最も重要であると考えます。
70 歳以上	男性	女性の人権といっても男にできることで女性にできないこともあるし、それぞれができることをすればよいのでは？家庭で言えば家の小修理、庭木の手入れ、重量物の運搬等は女性では少し無理があると思う。要は、分担でそれぞれが協力すればよい。
70 歳以上	男性	ともすれば、一部の有力な人々が参加するようで自分からは入りづらい雰囲気がある。もっと自由に誰でも簡単に行ってみようという気になれるようにして欲しい。
70 歳以上	男性	結婚相談所等多くありますが、行政としての相談所を多くつくる、また、昔のような仲人オバサン等ボランティアでつくるなど結婚の機会を多くする。女性も男性でも結婚して子どもをつくることに熱望（内心で）している方が多いのですが、なんとなく機会がなく行き遅れになっている人が多い。
70 歳以上	男性	市と住民との距離が広すぎて住民の要望事項が届かない。日頃より自治会の会合を利用し自由に話せる場をつくり、習慣づけることで上記のような内容が難しい問題でも正しい回答が得られると思う。市民は市政のあり方を細かく知りたいと思うが、本、文章を読む、字を書くことを嫌がる傾向があるように思われる。
70 歳以上	男性	男性は外で働き、女性は子どもを育てる。女性は細やかな心配り、愛情で世話をするので、生活の中で差がつくのは致し方ない。結局、男女共に助け合い、励ます以外ない。
70 歳以上	女性	現在社会は人権が大切にされてない。勝組ばかりをもてはやす風潮に憤りを感じる。行政は平等な社会をめざし弱者を大切にす姿勢をもつべき。「男女共同参画」の基本は男女共に人間が大切にされることでは？
70 歳以上	女性	男女とも相手の人格を尊重しあい、愛を持ってつくすべきだと思う。特に高齢者弱者に対して、優しく接する気持ちは大切であろう。
70 歳以上	女性	女性が参政権を獲得することに、それぞれの国にそれぞれの苦難の歴史があったことを思い起こします。男女の別なく人は平等でなければなりません。最近言われているジェンダーフリーにはなじめないものを覚えます。女性には女性の美しさがあり、男性には男性の美しさがあります。男と女は染色体の数も異なり、男性がいかにがんばっても子どもを出産することができないのですから・・・男女共同参画と言っても女が禪をしめて屋台を担ぐわけにもいかず。

年 齢	性 別	自 由 回 答 意 見
70 歳以上	女性	よいこととはわかっておりながら、皆さん家庭個々に違うのでむずかしいですね。度々会合して、お互いの立場を話しあい、内にとじこもらず大勢の意見を聞き反省点を見出し向上することですね。
70 歳以上	女性	この度の調査の機会に接し、貴課の存在を知りました。認識不足で申し訳ありません。日々陰に陽に市民のためご尽力いただいていることに対し、心強く、有難く感謝いたします。ありがとうございました。
70 歳以上	女性	老夫婦で生活していますが、一番心配なのは、後に残った時の老人福祉施設、介護サービスのことが不安です。良い介護サービスが受けられることを望みます。
70 歳以上	女性	男性は職を持ちあまり家庭を顧みず働き、女性は子育て・老人の世話・雑用ばかり。これから女性も職を身に付け社会に出て行く機会をつくる。女性もいろいろな分野に参加できるよう、昔の考え方をまず改善する。自由のあり方を間違えないようにする教育も必要である。人生の終着駅に近い年齢だから後悔もあり、また若き方への希望もありますが、良き姫路になりますことを願っています。
70 歳以上	女性	ある集団で活動の際、アンケートのことを話したが男女共同参画という言葉、“あいめっせ”の事業内容を誰も知らなかった。このアンケートを買わなかったらわからなかった。もっと少子化対策を急務として取り組み、対策、具体的に改善する等役立つことをして欲しい。親となる若者への子育ての大切さ、自覚教育、自分本位の出産はせず、本当に、自分、社会、ひいては日本のため、大切なことを気づかせる教育こそ急務。子育て対策こそ急務。権利と共に責任を重んじる日本社会をつくらう。

資料

男女共同参画に関する市民意識調査

ご協力をお願い

日頃から、市政にあたたかいご理解とご協力をいただきありがとうございます。

姫路市では、全ての市民が人権尊重を基調に、性や世代にとらわれることなく一人ひとりの個性、資質、能力を認め合い、それらを十分に発揮し、支えあって暮らせる都市の実現を目指して、『男女共同参画プラン』を策定するなど、様々な取り組みを進めています。

本調査は、平成13年3月に策定した『男女共同参画プラン』の中間見直しにあたり、市民の皆様の男女共同参画社会に関する意識や意向、ニーズを的確に把握し今後の施策展開の参考とするため、皆様の日頃の生活やお考えをお聞きするものです。

調査対象者は、市内にお住まいの満20歳以上の男女3,000人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただきました。ご記入は、無記名で、内容は全て統計的に処理を行いますので、ご回答いただいた方のお名前や回答内容が分かることはありません。また、調査結果を他の目的に使用することはありませんので、ありのままお答えください。

お忙しいところ恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成17年7月

姫路市長 石見利勝

ご記入上のお願

- 1 封筒のあて名の方ご本人がご記入ください。
- 2 回答は、設問ごとにあてはまる番号を選び、その番号に をつけていただくものがほとんどです。設問ごとに「1つ選んで をつけて」「3つまで選んで をつけて」など指定しておりますので、指示にしたがってご記入ください。
- 3 回答の際、「その他」に該当する場合は、具体的にその内容を()内にご記入ください。
- 4 ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**8月12日(金)**までに、ご投函くださいますようお願い申し上げます。
- 5 このアンケートに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

〒670-0012 姫路市本町68番地の290 イーグレひめじ3階
姫路市男女共同参画推進課
TEL: 0792-87-0803 FAX: 0792-87-0805

あなたご自身のことについておたずねします。

F1. あなたの性別はどちらですか。あてはまるものを 1つ選んで番号に をつけて ください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F2. あなたの年齢はおいくつですか(平成17年7月20日現在)。あてはまるものを 1つ選んで番号に をつけて ください。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20～29歳 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 |
| 4. 50～59歳 | 5. 60～69歳 | 6. 70歳以上 |

F3. あなたの職業は次のどれにあたりますか。あてはまるものを 1つ選んで番号に をつけて ください。

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. 勤め人(常勤) | 2. 勤め人(非常勤、パートタイム、アルバイトなど) |
| 3. 自営業(事業の経営者、家業の手伝い、内職など) | 4. 学生 |
| 5. 専業主婦・専業主夫 | 6. 無職(4及び5を除く) |
| 7. その他() | |

F4. あなたは結婚されていますか。あてはまるものを 1つ選んで番号に をつけて ください。

- | | |
|----------|---------------|
| 1. 未婚 | 2. 既婚(事実婚を含む) |
| 3. 離別、死別 | |

F4-1 この問は、F4で「2.既婚(事実婚を含む)」と回答した方のみおたずねします。
あなたの配偶者・パートナーの就労状況はどれですか。あてはまるものを 1つ選んで番号に をつけて ください。

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. 勤め人(常勤) | 2. 勤め人(非常勤、パートタイム、アルバイトなど) |
| 3. 自営業(事業の経営者、家業の手伝い、内職など) | 4. 学生 |
| 5. 専業主婦・専業主夫 | 6. 無職(4及び5を除く) |
| 7. その他() | |

F5. あなたはお子さんがいらっしゃいますか。あてはまるものを 1つ選んで番号に をつけて ください。

- | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|---------|
| 1. いない | 2. 1人 | 3. 2人 | 4. 3人 | 5. 4人以上 |
|--------|-------|-------|-------|---------|

F6. あなたの世帯状況はどれですか。あてはまるものを 1つ選んで番号に をつけて ください。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 単身世帯(ひとり暮らし) | 2. 一世帯世帯(夫婦のみ、兄弟姉妹のみ) |
| 3. 二世帯世帯(親と子など) | 4. 三世帯世帯(親と子と孫など) |
| 5. その他() | |

男女平等意識についておたずねします。

問 1 あなたは、今の社会において、次の各分野で男女の地位はどのようになっていると思いますか。 から のそれぞれについて（ア）～（カ）の中からあなたの気持ちに最も近いものを 1つずつ選んで番号に をつけてください。

	（ア） 男性の方が 非常に優遇 されている	（イ） どちらか のえれば男性 の方が優遇 されている	（ウ） 平等	（エ） どちらか のえれば女性 の方が優遇 されている	（オ） 女性の方が 非常に優遇 されている	（カ） わからない
家庭生活では	1	2	3	4	5	6
職場では	1	2	3	4	5	6
学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
政治の場では	1	2	3	4	5	6
地域活動の場では	1	2	3	4	5	6
法律や制度では	1	2	3	4	5	6
社会通念、慣習・しきたりなどでは	1	2	3	4	5	6
社会全体では	1	2	3	4	5	6

問 2 社会にはいろいろな面で男女不平等があるといわれていますが、不平等が生じる原因はどこにあると思いますか。次の中から 3つまで（1つでもよい）選んで番号に をつけてください。

1. 男女の生まれつきの身体的・生理的な差
2. これまでにつくられた男女の能力・適性のちがい
3. 男女の役割についての固定観念
4. 社会の慣習やしきたり
5. 法律や制度上の差
6. 職業生活面での有利・不利
7. 女性の自覚や理解の不足
8. 男性の自覚や理解の不足
9. 売買春、風俗産業、女性の裸体を扱うマスコミ・メディアなど、女性を商品化する風潮
10. 男女不平等な点はない
11. わからない
12. その他（)

問 3 あなたは、今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるためには、どのようなことが最も重要だと思いますか。次の中から 1つ選んで番号に をつけてください。

1. 法律や制度の上での見直しを行い、女性差別につながるものを改めること
2. 女性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること
3. 女性自身が経済力をつけたり知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上をはかること
4. 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実をはかること
5. 政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること
6. わからない
7. その他（)

職業生活についておたずねします。

問 4 理想的な女性のライフスタイルと実際の状況（現実）についておうかがいします。
あなたが女性の場合はあなた自身について、男性であればあなたの妻について、理想と現実をそれぞれ（ア）～（カ）の中から **1つずつ選んで番号に** をつけてください。
結婚されていない方も、結婚していると仮定してお答えください。

	(ア) 職業をもたない	(イ) 結婚するまでは、職業をもつ	(ウ) 子どもができるまでは、職業をもつ	(エ) 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ	(オ) ずっと職業を続ける	(カ) わからない
理想	1	2	3	4	5	6
現実	1	2	3	4	5	6

問 5 あなたは、女性が働く上で、支障となることはどのようなことだと思いますか。次の中から **3つまで（1つでもよい）選んで番号に** をつけてください。

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 家事の負担が大きいこと | 2. 夫・子どもの世話の負担が大きいこと |
| 3. 老人の世話の負担が大きいこと | 4. 夫・子どもなどの理解や協力がでないこと |
| 5. 保育体制の不備 | 6. 老人福祉施設、介護サービスを利用しにくいこと |
| 7. 職場で男女差別があること | 8. 職場での結婚・出産退職の慣例があること |
| 9. 夫の転勤や長時間労働 | 10. 女性の働き口自体が少ないこと |
| 11. 支障となることは特にない | 12. わからない |
| 13. その他（ | ） |

問 6 この問は、F3で「1.勤め人（常勤）」「2.勤め人（非常勤、パートタイム、アルバイトなど）」「3.自営業（事業の経営者、家業の手伝い、内職など）」と回答した方にのみおたずねします。

ただし、「4.学生」と回答した方でも、アルバイトなどで勤務している方は、お答えください。

あなたの職場で、現在次のようなことがありますか。次の中から **あてはまるものをすべて選んで番号に** をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 女性は昇進・昇格が遅い、または望めない |
| 2. 同期に同年齢で入社した男性との賃金、昇給の差がある |
| 3. 社内研修や教育訓練、出張や視察などの機会が少ない |
| 4. 定年の年齢に男女差がある |
| 5. 女性が結婚や出産を機に退職する慣習がある |
| 6. 女性が長く就労することを歓迎しない雰囲気がある |
| 7. 女性は補助的な仕事しかさせてもらえない |
| 8. お茶くみなどの雑用は職種にかかわらず女性がすることが多い |
| 9. 特に男女格差はない |
| 10. その他（ |

問 7 あなたは一般的に、男女が共に職業人として職場で能力を発揮し、かつ継続して勤務するためには、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から3つまで(1つでもよい)選んで番号にをつけてください。

- | |
|---|
| 1. 職業人として自覚をもつこと |
| 2. 仕事に必要な職業能力を身につけること |
| 3. 「男は仕事、女は家庭」という従来の社会通念が変わること |
| 4. 採用、職場配置、研修などにおいて、男女の機会均等が確保されること |
| 5. 能力や実績に応じた評価（給料面を含む）がなされること |
| 6. 男女共に育児休暇が取りやすくなること |
| 7. 男女共に介護休暇が取りやすくなること |
| 8. 結婚、出産などによりいったん退職した人が同じ企業に再び雇用されるようになること |
| 9. わからない |
| 10. その他（ ） |

結婚、家庭生活と男女の役割についておたずねします。

問 8 あなたは、結婚、家庭に関する次のような考えについて、どのように思いますか。から のそれぞれについて（ア）～（オ）の中からあなたの気持ちに最も近いものを1つずつ選んで番号に をつけてください。

	(ア) 賛成	(イ) どちらかといえ ば賛成	(ウ) どちらかといえ ば反対	(エ) 反対	(オ) わからない
結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5
女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい	1	2	3	4	5
結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない	1	2	3	4	5
結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4	5

問 9 あなたは、次にあげるような家庭内の仕事を、主に誰が分担するのが理想だと思いますか。 から のそれぞれについて(ア)～(キ)の中から 1つずつ選んで番号をつけてください。

結婚されていない方も、結婚していると仮定してお答えください。

	(ア) 夫	(イ) 妻	(ウ) 夫妻とも 同じくらい	(エ) 子ども	(オ) 家族 全員	(カ) その他 の人	(キ) わから ない
食事のしたく	1	2	3	4	5	6	7
食事の後かたづけ、食器洗い	1	2	3	4	5	6	7
掃除	1	2	3	4	5	6	7
洗濯	1	2	3	4	5	6	7
育児・しつけ	1	2	3	4	5	6	7
看護・介護	1	2	3	4	5	6	7

問 10 この問は、F4で「2. 既婚(事実婚を含む)」と回答した方にのみおたずねします。あなたの家庭では、次にあげるような家庭内の仕事を、実際に主にだれが分担していますか。 から のそれぞれについて(ア)～(キ)の中から 1つずつ選んで番号をつけてください。

	(ア) 夫	(イ) 妻	(ウ) 夫妻とも 同じくらい	(エ) 子ども	(オ) 家族 全員	(カ) その他 の人	(キ) わから ない
食事のしたく	1	2	3	4	5	6	7
食事の後かたづけ、食器洗い	1	2	3	4	5	6	7
掃除	1	2	3	4	5	6	7
洗濯	1	2	3	4	5	6	7
育児・しつけ	1	2	3	4	5	6	7
看護・介護	1	2	3	4	5	6	7

問 11 あなたは、近年の少子化の原因は、どのようなことだと思いますか。次の中から 3つまで(1つでもよい)選んで番号をつけてください。

1. 子育ての経済的負担が大きいから
2. 子育ての精神的・肉体的負担が大きいから
3. 子育てにより自由時間が制限されるから
4. 仕事を重視する女性が増えたから
5. 仕事と両立するための環境ができていないから
6. 子どもの未来に不安があるから
7. 住宅や遊び場などの生活環境がよくないから
8. 老後を子どもに頼ろうと思わなくなったから
9. 結婚年齢が高くなったから
10. 結婚しない人が増えたから
11. 結婚しないで子どもをもつことに対して抵抗感が強いから
12. 子どもがほしくないから
13. わからない
14. その他 ()

問 12 安心して子どもを産み育てるためにはどんなことが必要だと思いますか。次の中から 3つまで(1つでもよい)選んで番号に をつけてください。

1. 出産・育児に対する経済的な支援の拡充
2. 保育サービスの充実
3. ファミリーサポートセンター事業や学童保育など地域の子育て支援の充実
4. 子育て中の柔軟な勤務形態の普及
5. 父親が子育てに十分かかわることができる職場環境の整備
6. 出産・子育て後に再就職しやすい制度づくり
7. 子育て中の仲間づくり支援
8. 子育ての悩み相談の充実
9. 子育て中の専業主婦のリフレッシュ支援
10. ひとり親家庭の支援
11. わからない
12. その他 ()

問 13 あなたは、子育てについて、どのように考えますか。次の中から あてはまるものをすべて選んで番号に をつけてください。
お子さんのいない方もいるものと仮定してお答えください。

1. 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てた方がよい
2. 男の子も女の子も同じように育てた方がよい
3. 男の子には女の子よりも高等教育を受けさせたい
4. 女の子には男の子よりも高等教育を受けさせたい
5. 男の子も女の子も本人が望むように教育を受けさせたい
6. わからない
7. その他 ()

問 14 もし、あなたが介護が必要になったら、主にだれに世話をしてもらいたいですか。次の中から 1つ選んで番号に をつけてください。

1. 夫または妻(パートナー)
2. 娘
3. 息子
4. 娘の夫
5. 息子の妻
6. その他の親族
7. ホームヘルパーや公的な介護制度を利用する
8. 病院や老人ホームなどの施設に入所する
9. その他 ()

問 15 厚生労働省が実施した国民生活基礎調査によると、介護者の 76.4%が女性という実態が示されています。あなたは、高齢者介護が女性の役割となりがちであることについてどのように考えますか。次の中から 1つ選んで番号に をつけてください。

1. 女性の役割だと思う
2. 問題があるが、現状ではやむをえない
3. 男性も女性とともに介護するべきである
4. 男女にかかわらず、主に実の子どもが介護するべきである
5. 原則として社会が行うべきである
6. わからない
7. その他 ()

社会参加活動についておたずねします。

問 16 あなたは、次のような活動に参加していますか。また、今後参加したい活動はありますか。 から のそれぞれについて(ア)～(エ)の中から 1つずつ選んで番号に をつけてください。

	(ア) 現在参加 している	(イ) 現在参加して いないが、今後 参加したい	(ウ) 参加したく ない	(エ) わからない
趣味・学習・スポーツ活動	1	2	3	4
町内会・PTA・子ども会など地域活動	1	2	3	4
リサイクル・消費生活活動	1	2	3	4
国際交流活動	1	2	3	4
ボランティア活動・福祉活動	1	2	3	4
環境保護、まちづくりなどの住民運動や 社会活動	1	2	3	4
政治活動や宗教活動	1	2	3	4
その他()	1	2	3	4

問 17 あなたが社会活動に参加しようとする上で、支障となることはどのようなことですか。次の中から あてはまるものをすべて選んで番号に をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 仕事が忙しい | 2. 家事が忙しい |
| 3. 小さい子どもがいる | 4. 病人、老人がいる |
| 5. 家族の理解や協力がでない | 6. 活動する仲間や場所が少ない |
| 7. 健康や体力に自信がない | 8. 職場の理解がない |
| 9. 社会活動に関する情報が少ない | 10. グループの人間関係がわずらわしい |
| 11. 支障となることは特にない | 12. その他() |

問 18 あなたの住んでいる地域(自治会など)で、現在次のようなことがありますか。次の中から あてはまるものをすべて選んで番号に をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 会議や行事などで女性が飲食の世話や後かたづけをすることが多い |
| 2. 会議や行事などで女性が意見を言いにくい、意見を取り上げてもらいにくい |
| 3. 役員選挙に女性が出にくい、また選ばれにくい |
| 4. 地域の行事で女性が参加できなかつたり、男性と差がある |
| 5. 地域の活動に女性が少ないため歓迎される |
| 6. 地域の活動には女性の方が積極的で活発である |
| 7. 特に男女格差はない |
| 8. その他() |

問 19 あなたは、今後どのような分野、領域で女性の参画が必要になると思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで番号にをつけてください。

1. 地域おこし、まちづくり、観光などを女性の視点から見直す地域の文化・産業分野
2. 環境保全に対する女性の高い関心や豊かな知識、経験を生かすことができる環境分野
3. 被災・復興状況における女性をめぐる諸問題の解決など防災・災害復興分野
4. 女性研究者の採用機会の確保や理工系への進路選択の支援など科学技術分野
5. 農業経営への参画、家族経営協定など農林水産分野
6. 審議会委員などへの任命、管理職への登用、職域の拡大など政策・方針決定領域
7. その他 ()

問 20 あなたは、今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思えますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで番号にをつけてください。

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
5. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること
6. 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多くもてるようにすること
7. 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと
8. 国や地方自治体の研修などにより、男性の家事や子育て、介護などの技能を高めること
9. 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）づくりをすすめること
10. 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について男性が相談しやすい窓口を設けること
11. 特に必要なことはない
12. その他 ()

人権についておたずねします。

問 21 あなたが、女性の人権が尊重されていないと感じるのはどのようなことについてですか。次の中からあてはまるものをすべて選んで番号にをつけてください。

1. 男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）
2. 昇給・昇進の格差など、職場における男女の待遇の違い
3. 女性の社会進出のための支援制度の不備
4. 家庭内での夫婦間の暴力やパートナーからの暴力
5. 職場におけるセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）
6. ストーカー行為
7. 売春・買春、援助交際
8. アダルトビデオ、ポルノ雑誌における女性のヌード写真や映像の商品化など
9. 電車内など公共の場における性情報の氾濫
10. 女性の容姿を競うコンテスト
11. わからない
12. その他 ()

問 22 セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）が最近問題になっていますが、あなたが、セクシュアル・ハラスメントだと思うものはどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んで番号にをつけてください。

1. 地位や権限を利用して、性的な関係を迫ること
2. さわる、抱きつくなど肉体的接触をすること
3. 性的冗談や質問、ひやかしなどの言葉をかけること
4. 宴席で、女性にお酌、デュエット、ダンスなどを強要すること
5. 結婚予定や出産予定をたびたび聞くこと
6. 女性の目につきやすい所に、ヌード写真やカレンダーを置いておくこと
7. 女性に対して「女の子」「おばさん」などと呼ぶこと
8. わからない
9. その他（

問 23 あなたは、セクシュアル・ハラスメントについて経験したり、見聞きしたことがありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで番号にをつけてください。

1. 自分が直接経験したことがある
2. 友人や職場の仲間など自分のまわりに経験した（している）人がいる
3. 一般的な知識として知っている
4. くわしくはわからないが、言葉としては聞いたことがある
5. セクシュアル・ハラスメントに関するチラシやパンフレットなどを見たことがある
6. 全く知らない

問 24 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（配偶者や恋人からふるわれる身体的・精神的・性的な暴力など）について経験したり、見聞きしたことがありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで番号にをつけてください。

1. 自分が直接経験したことがある
2. 自分のまわりに経験した（している）人がいる
3. 一般的な知識として知っている
4. くわしくはわからないが、言葉としては聞いたことがある
5. ドメスティック・バイオレンスに関するチラシやパンフレットなどを見たことがある
6. 全く知らない

男女共同参画に関する施策などについておたずねします。

問 25 次の男女共同参画に関する事項を、あなたはどの程度ご存知ですか。 から のそれぞれについて(ア)～(ウ)の中から 1つずつ選んで番号に をつけてください。

	(ア) 内容まで知っている	(イ) 見聞きしたことはある	(ウ) 知らない
男女共同参画社会	1	2	3
男女共同参画社会基本法	1	2	3
男女雇用機会均等法	1	2	3
育児・介護休業法	1	2	3
ストーカー規制法	1	2	3
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)	1	2	3
ポジティブ・アクション(積極的改善措置)	1	2	3
ジェンダー(社会的・文化的につくられた性別)	1	2	3
リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する女性の健康/権利)	1	2	3
姫路市男女共同参画プラン	1	2	3
配偶者暴力相談支援センター	1	2	3

問 26 あなたは、姫路市男女共同参画推進センター“あいめっせ”をご存知ですか。また、利用したことがありますか。次の中から 1つ選んで番号に をつけてください。

1. センターの事業内容を知っており、利用したことがある
2. センターの事業内容は知っているが、利用したことはない
3. センターの事業内容も知らないし、利用したこともない

問 27 あなたは、男女共同参画社会を形成していくため、今後、市はどのようなことに力を
入れていくべきだと思いますか。次の中から 3つまで(1つでもよい)選んで番号に
をつけてください。

1. 女性の人権尊重のためあらゆる分野で性差別の解消をめざし、啓発活動を充実させる
2. 学校で男女平等意識を育てる教育を充実させる
3. 家庭生活、地域社会での男女の対等な関係づくりと活動への共同参画について啓発する
4. 労働の場における男女平等の徹底と、男女が共に家庭と仕事を両立できるような労働環境の整備を行う
5. 女性に対するあらゆる暴力の根絶・防止に向けた取り組みを強化する
6. 男女が共に子育てに関わるための取り組みや、地域ぐるみで子育てを支援する施策を充実させる
7. 学習や活動、情報・ネットワークなどの拠点となる施設“あいめっせ”の事業を充実させる
8. 画一的な性別役割分担意識の払拭をはかるため啓発活動を充実させる
9. 地域で男女平等をすすめるための生涯学習の場や機会を増やす
10. 行政・企業・地域などあらゆる分野で女性の積極的登用をすすめるよう啓発する
11. 女性の就労の機会が増えるよう、職業訓練や職業教育を充実させたり環境の整備をはかる
12. 女性性の保護や女性専門外来の設置など女性の心身の健康づくりや各種相談を充実させる
13. 高齢者や障害者に対する介護サービスを充実させ介護の社会化をはかるとともに、男女が共に介護に関わるための基盤づくりをすすめる
14. わからない
15. その他()

男女共同参画に関する市政へのご意見・ご要望、また、姫路市男女共同参画推進センター“あいめっせ”へのご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。